

# 「森林保全のためのこれまでの取り組みと 新たな施策の方向性」

## 検討項目

- 1 森林保全のためのこれまでの取り組み
- 2 新たな施策の方向性

第2回 森林環境税(仮称)検討委員会資料

平成18年5月17日  
福 岡 県

# 1 森林保全のためのこれまでの取り組み

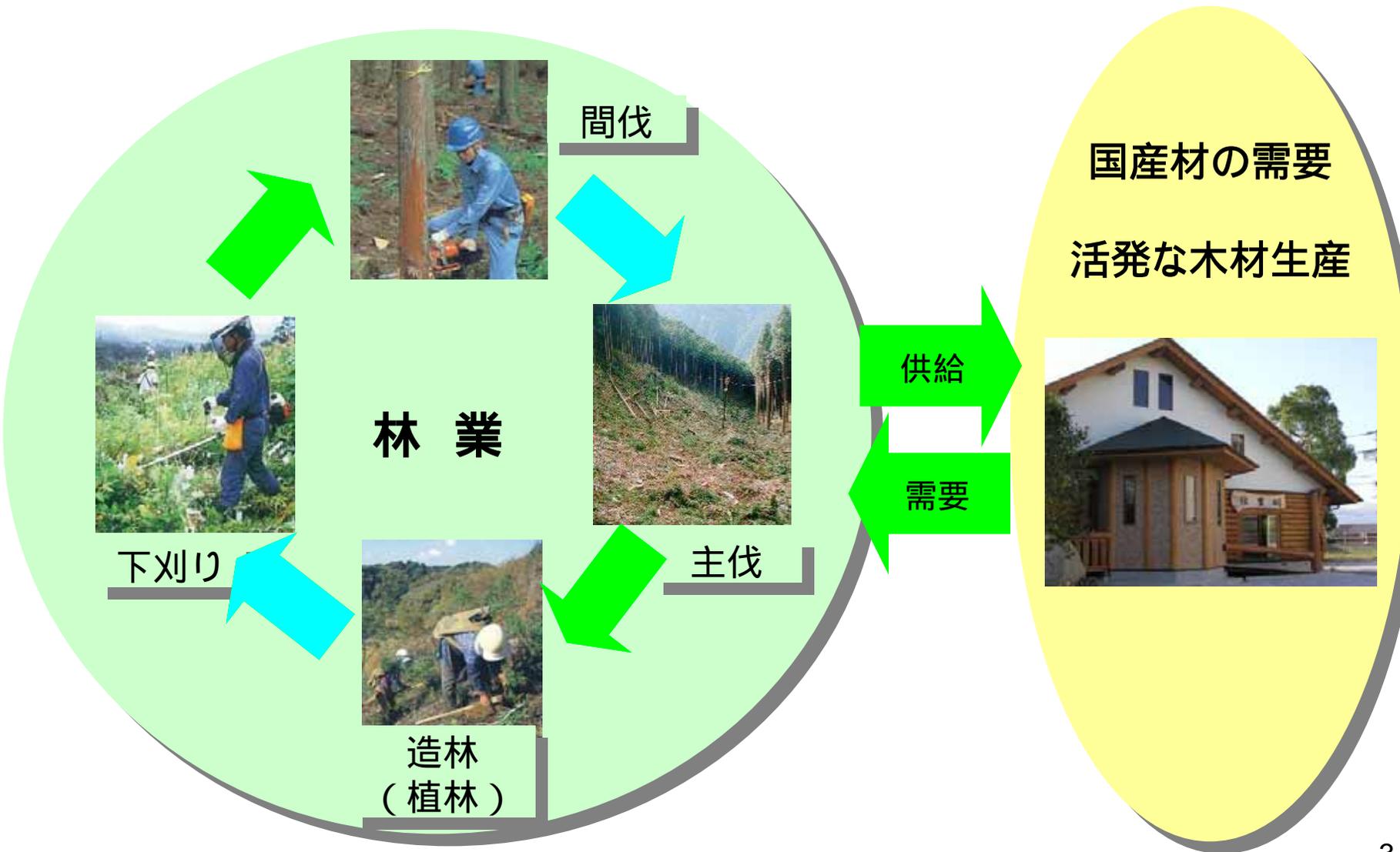
(1) 行政による林業への支援

(2) 「水源の森基金」による森林整備への支援

(3) 「緑の募金」による緑化活動への支援

# (1) 行政による林業への支援

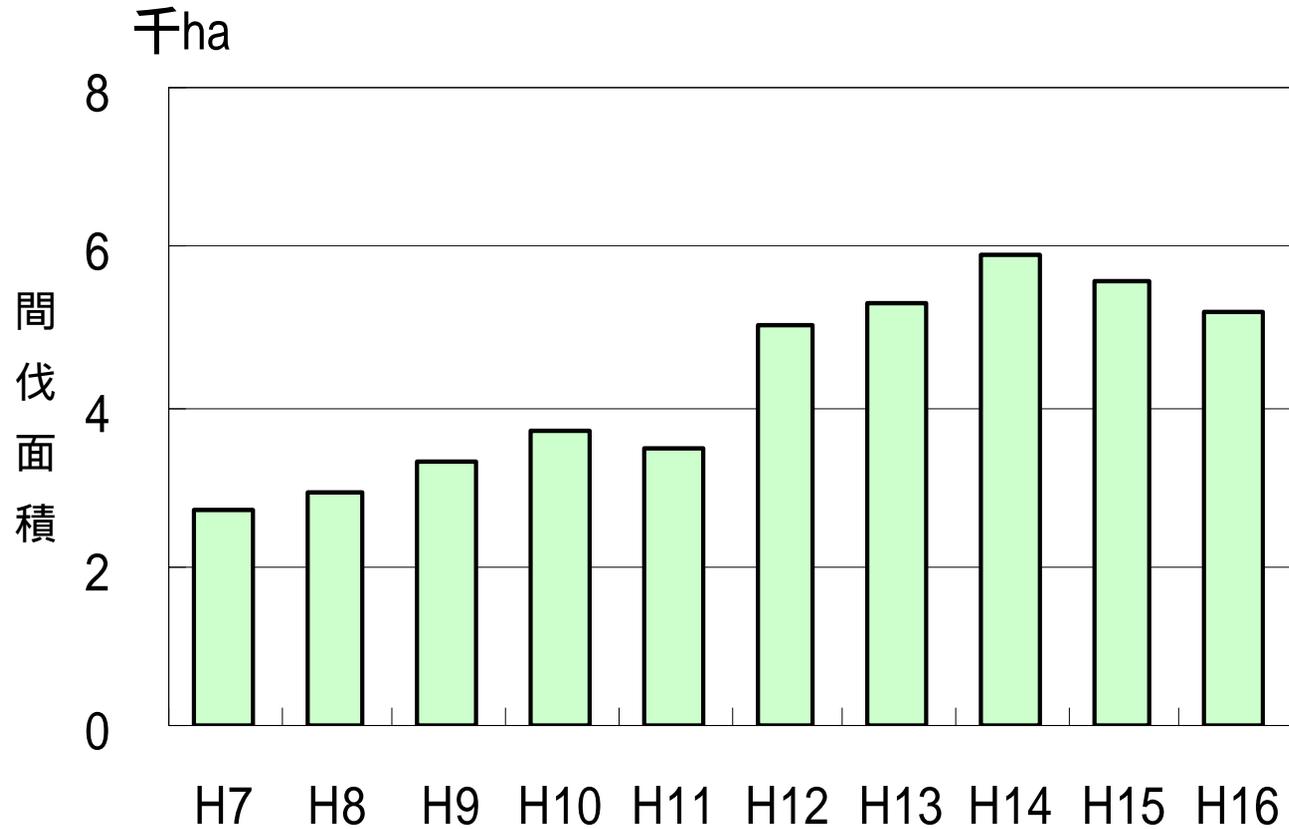
従来は森林所有者により森林の整備・保全がなされていた



# 現在の森林保全は森林所有者の自助努力と行政の林業に対する支援で支えられている



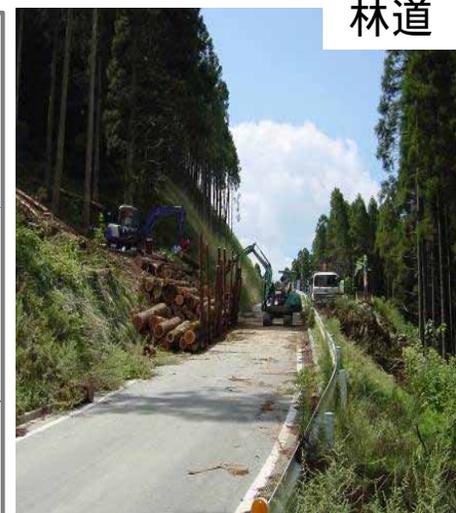
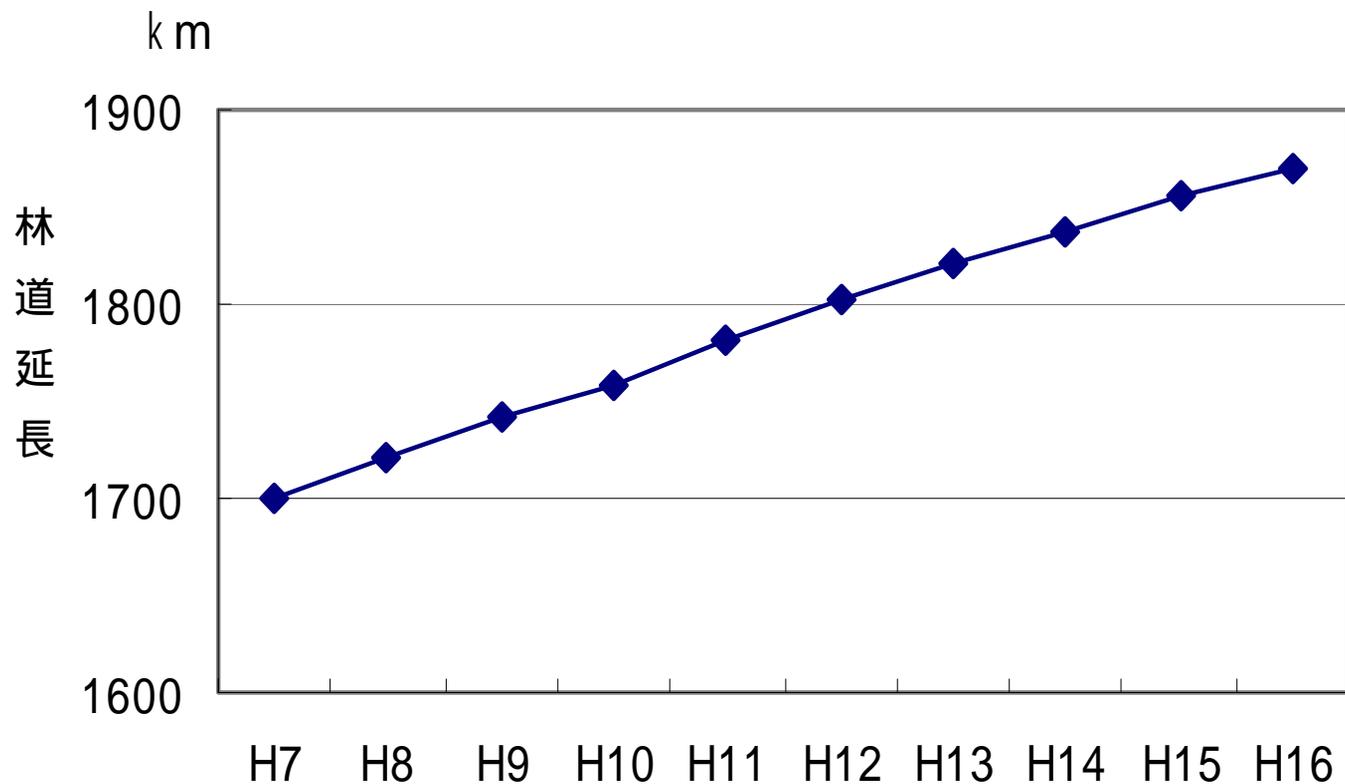
# 行政支援による間伐の実施



間伐面積の推移



# 木材生産コスト削減を図るための林道の整備



# 資源の循環利用を促進するための 木材の需要拡大

普及・啓発活動

公共工事での  
木材利用推進

住宅部門における木材  
の利用推進

間伐材の利用推進

- ・木工工作コンクール
- ・木製机・椅子の導入促進

平成16年度実績  
5,317m<sup>3</sup>

産地直送住宅の推進

- ・魚礁の製作・設置
- ・製品の試作・展示

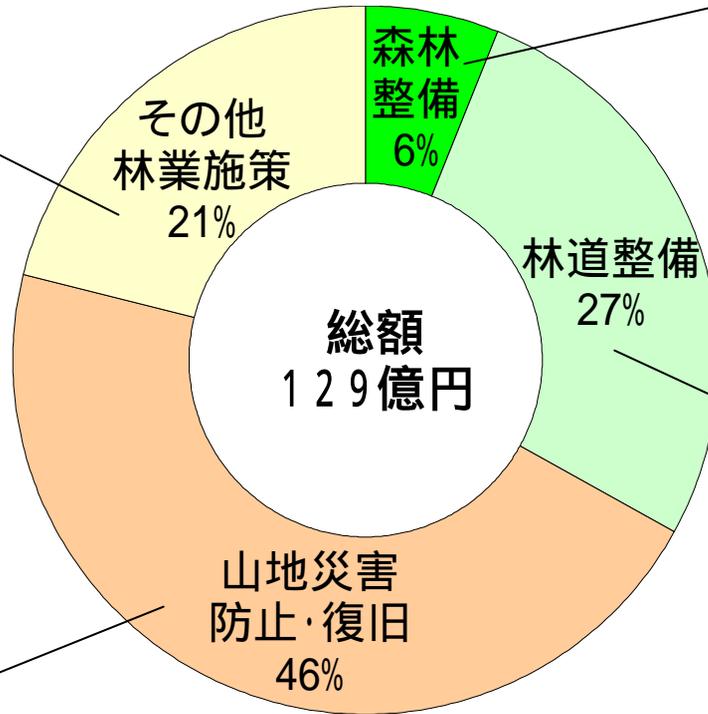
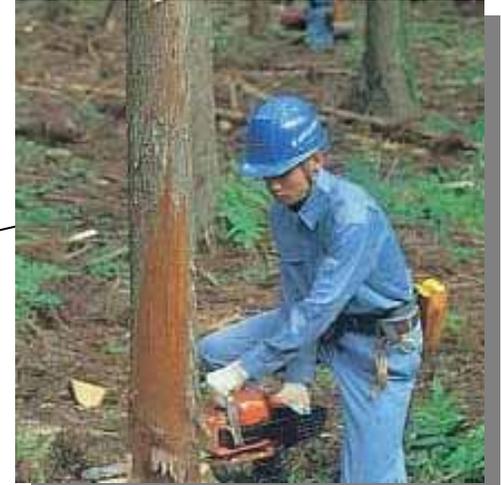


木工教室



魚礁の設置

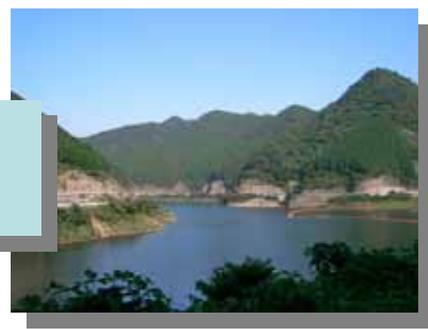
# 森林・林業に関する予算の現状



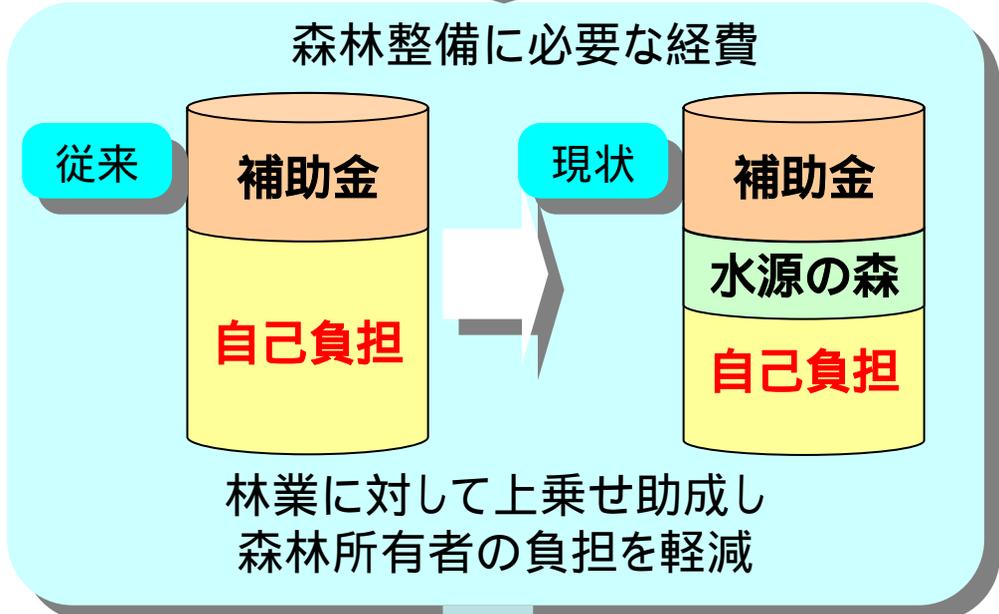
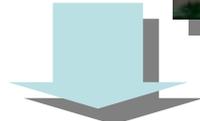
森林・林業に関する予算(H16年度)

人件費等除く

# (2) 「水源の森基金」による森林整備への支援



ダム上流 水源林などの  
森林整備を行う場合…

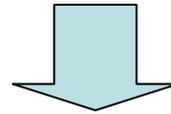


水源かん養林などの森林整備促進



### (3) 「緑の募金」による緑化活動への支援

県民からの募金



都市住民による植樹や都市部の緑化など



緑の少年団による植樹



路側帯の緑化など

## 2 新たな施策の方向性

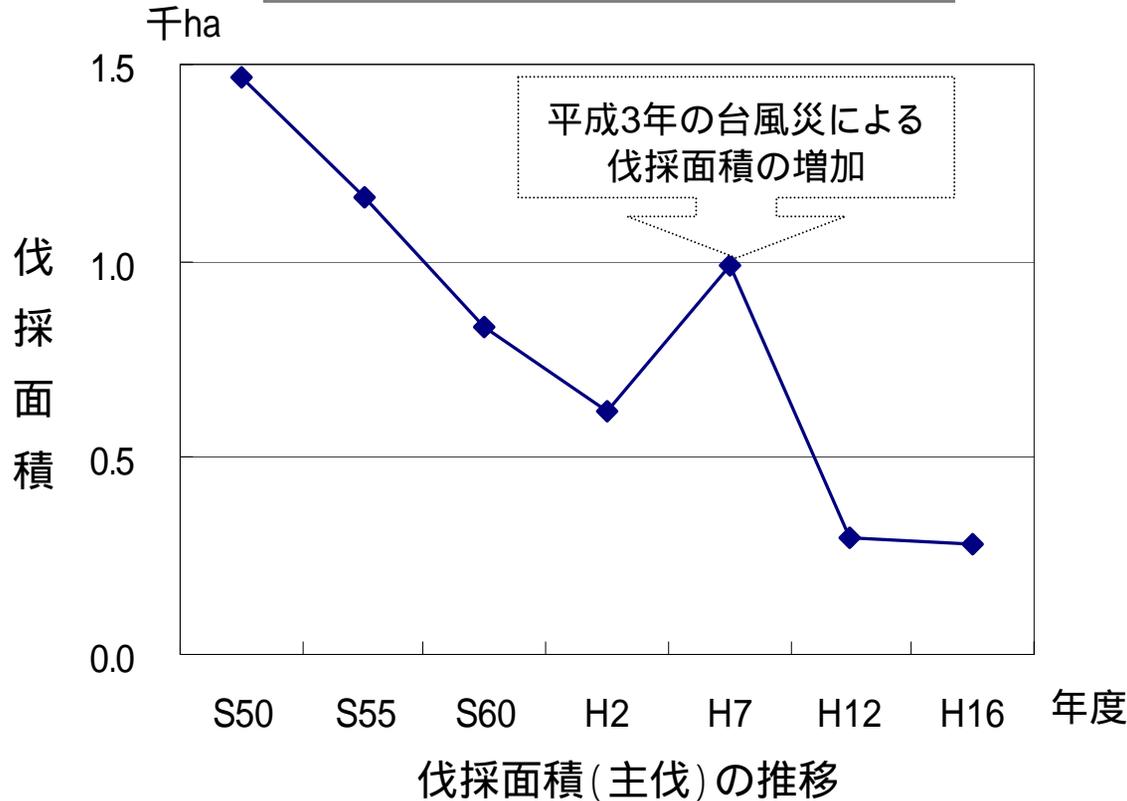
- (1) 森林・林業の現状と将来
- (2) 新たな施策の必要性
- (3) 九州地方知事会税制調査研究会報告  
と他県の税制導入状況
- (4) 他県における取り組み
- (5) 新たな施策の方向性

# (1) 森林・林業の現状と将来

現状

木材価格の下落  
賃金の上昇  
就業者の減少、高齢化

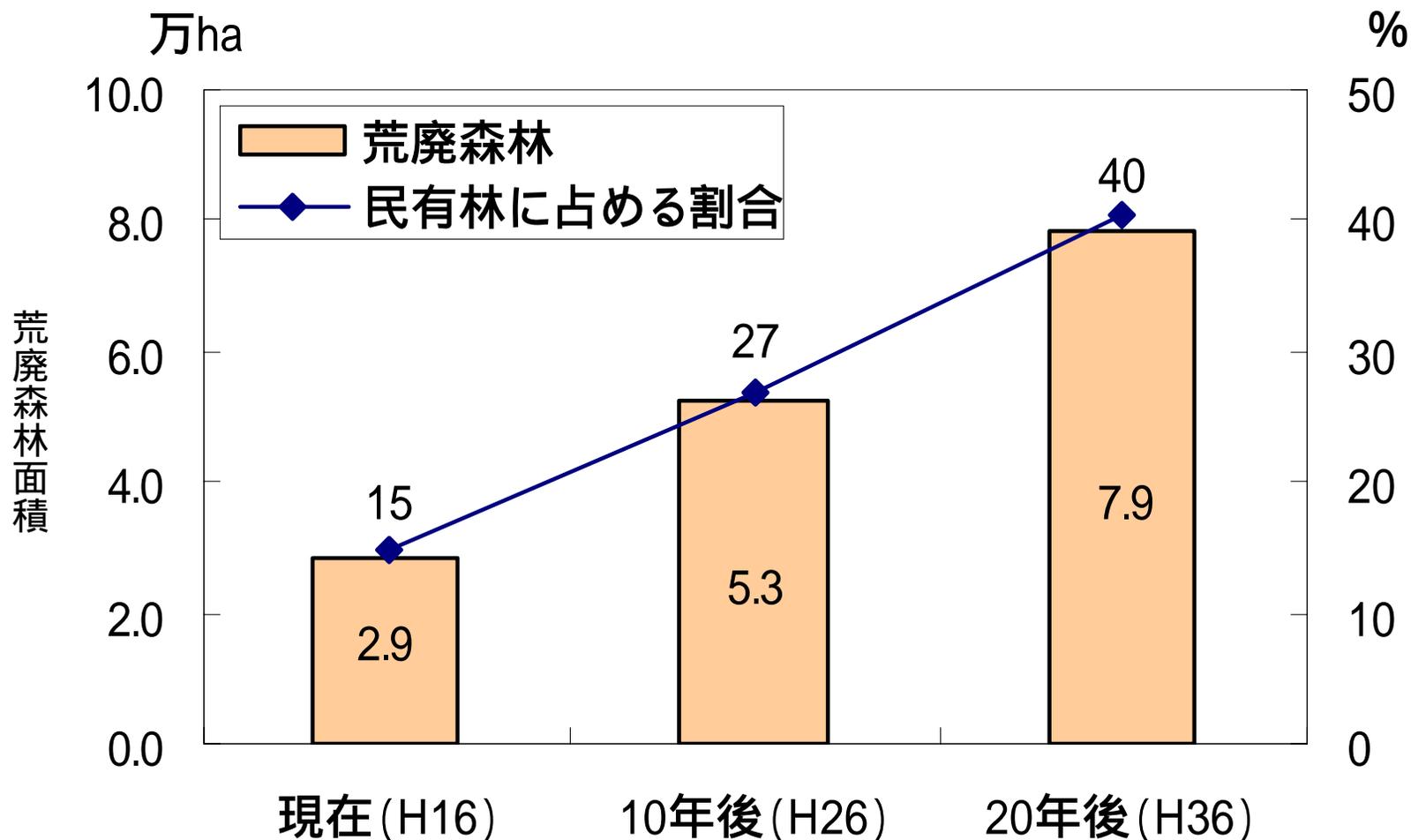
木材生産活動の停滞



今後も急激な好転は期待できない

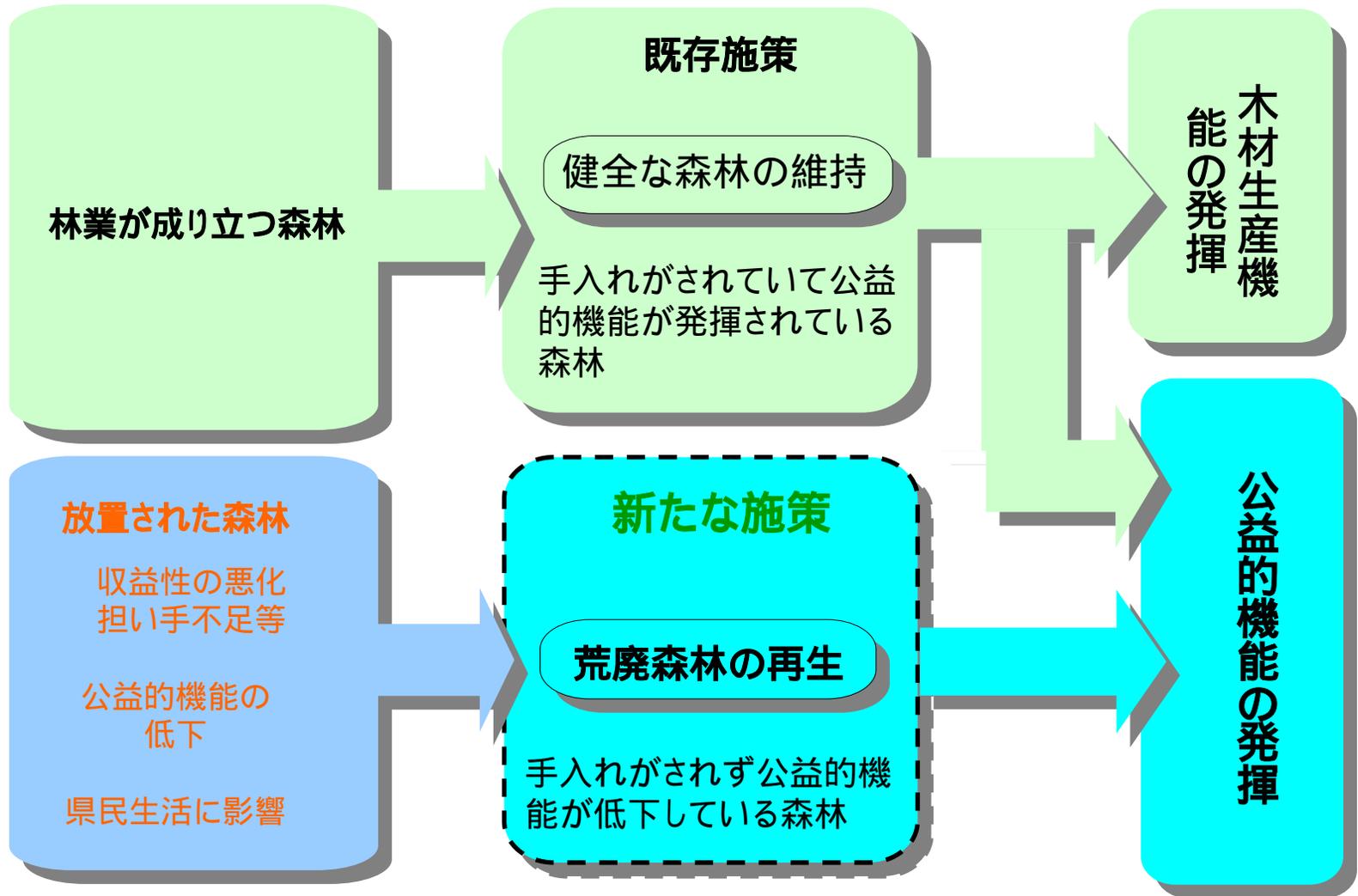
将来

20年後には民有林の4割が荒廃すると推測



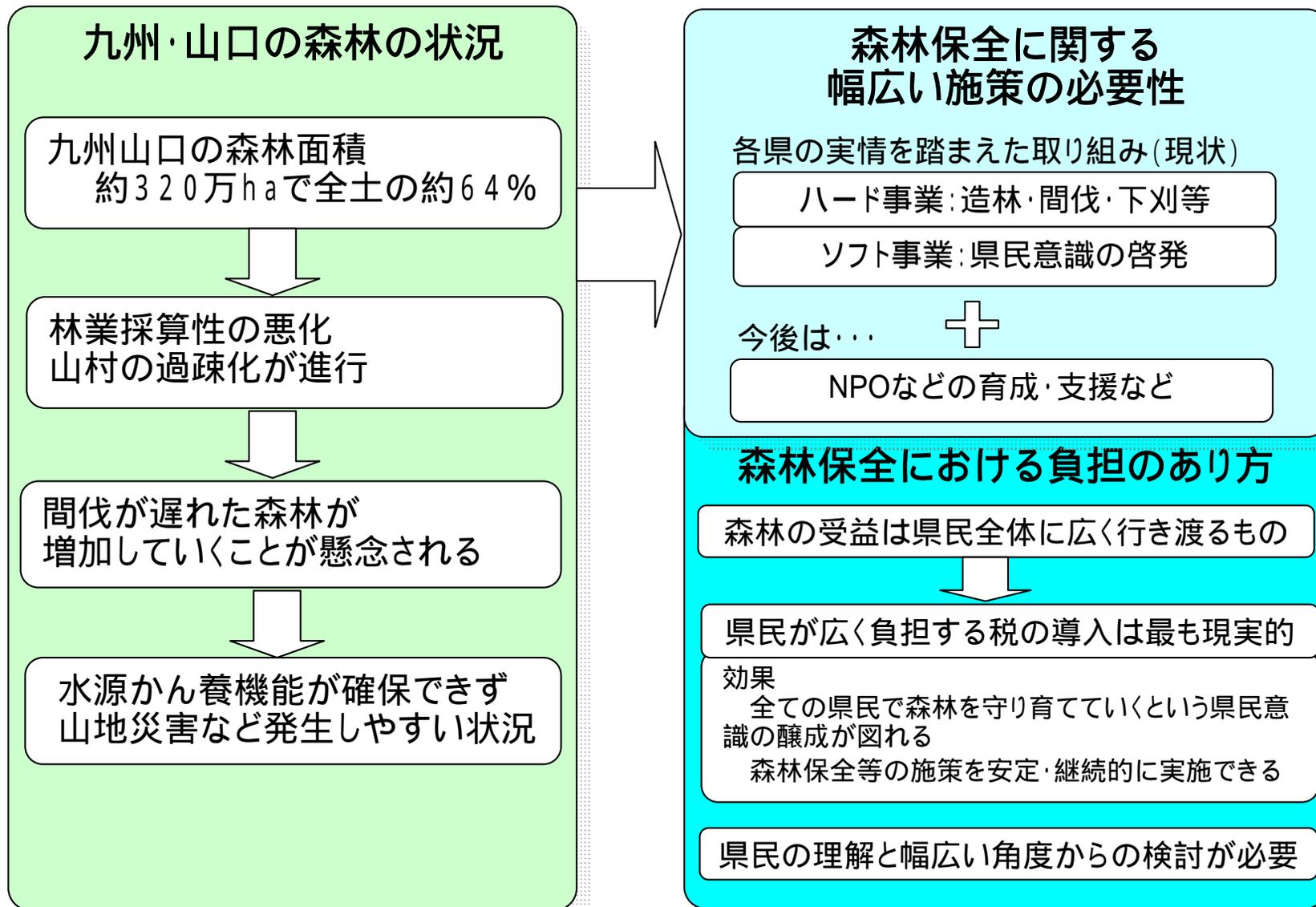
## (2) 新たな施策の必要性

森林を良好な状態で次世代へ引継ぐには  
従来の施策に加え、**新たな施策が必要**



# (3)九州地方知事会税制調査研究会報告

## 税制調査研究会報告の概要



# 他県の税制導入状況

平成18年4月末現在：16県が森林保全のための税を導入

## 導入県の税の目的

### 森林の公益的機能の発揮を目的とした税(15県)

#### 【九州・山口】

鹿児島県、宮崎県、大分県、熊本県、山口県(5県)

#### 【その他の県】

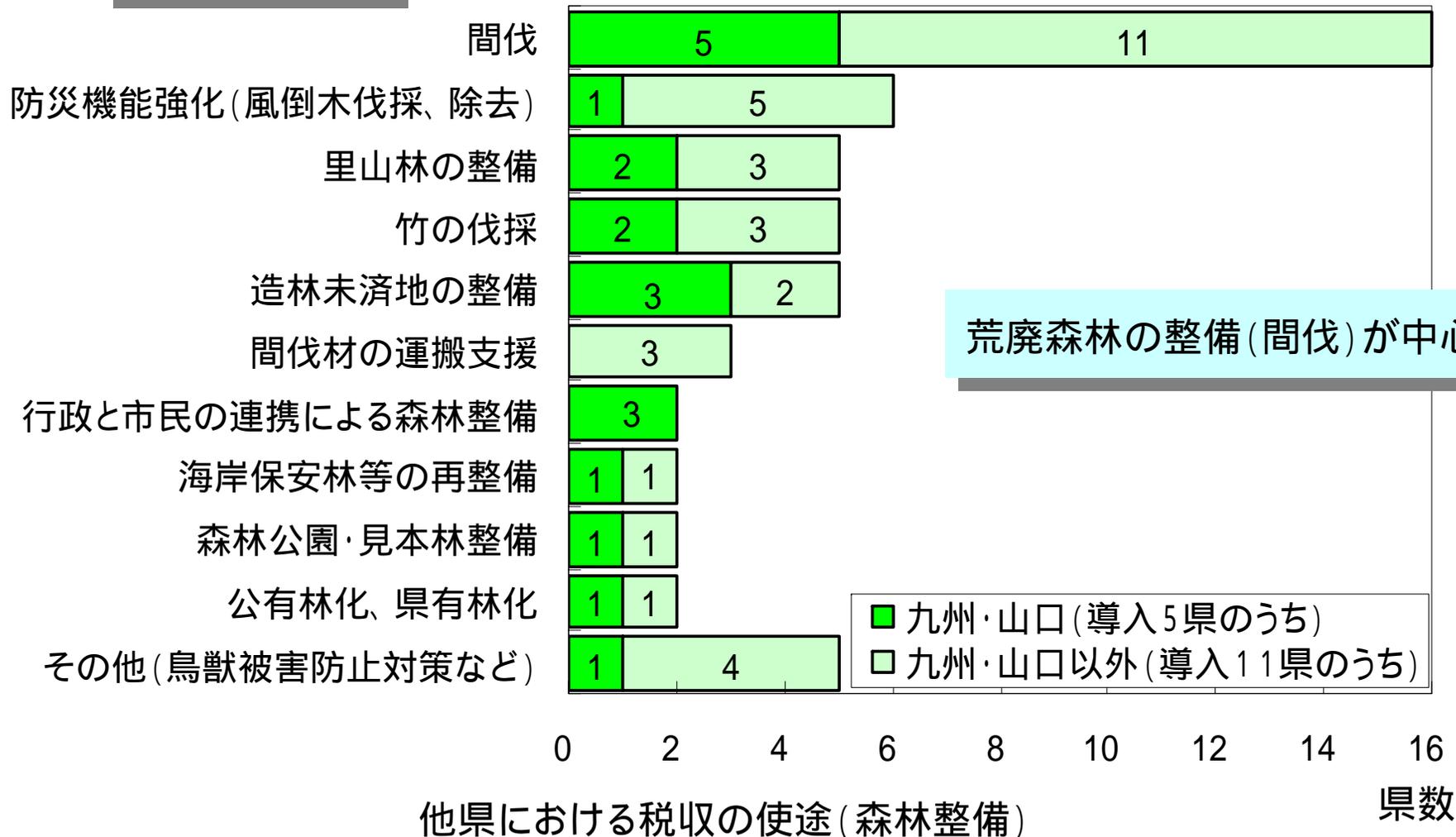
高知県、愛媛県、岡山県、島根県、鳥取県、奈良県、滋賀県、静岡県  
福島県、岩手県  
(10県)

### 森林と都市部の緑の保全を目的とした税(1県)

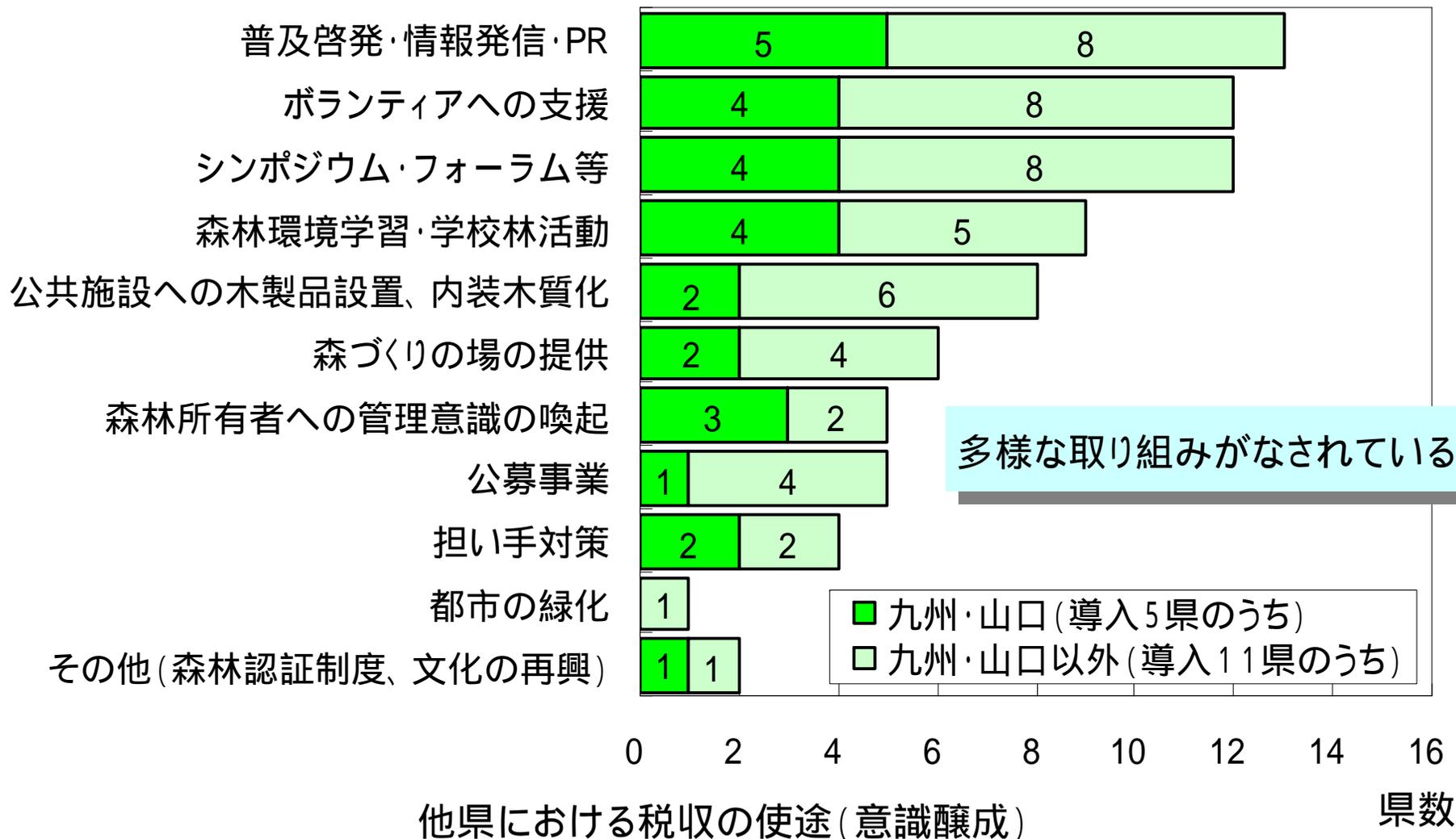
兵庫県

# (4) 他県における取り組み

## 森林の整備



# 意識の醸成



# (5) 新たな施策の方向性

## 新たな施策の基本理念

県民共有の財産  
(森林の有する公益的機能)

既存施策のみでは保全できない現状

未来につなぐ森の恵み  
(水や空気など)

未来につなぐ森の恵みを



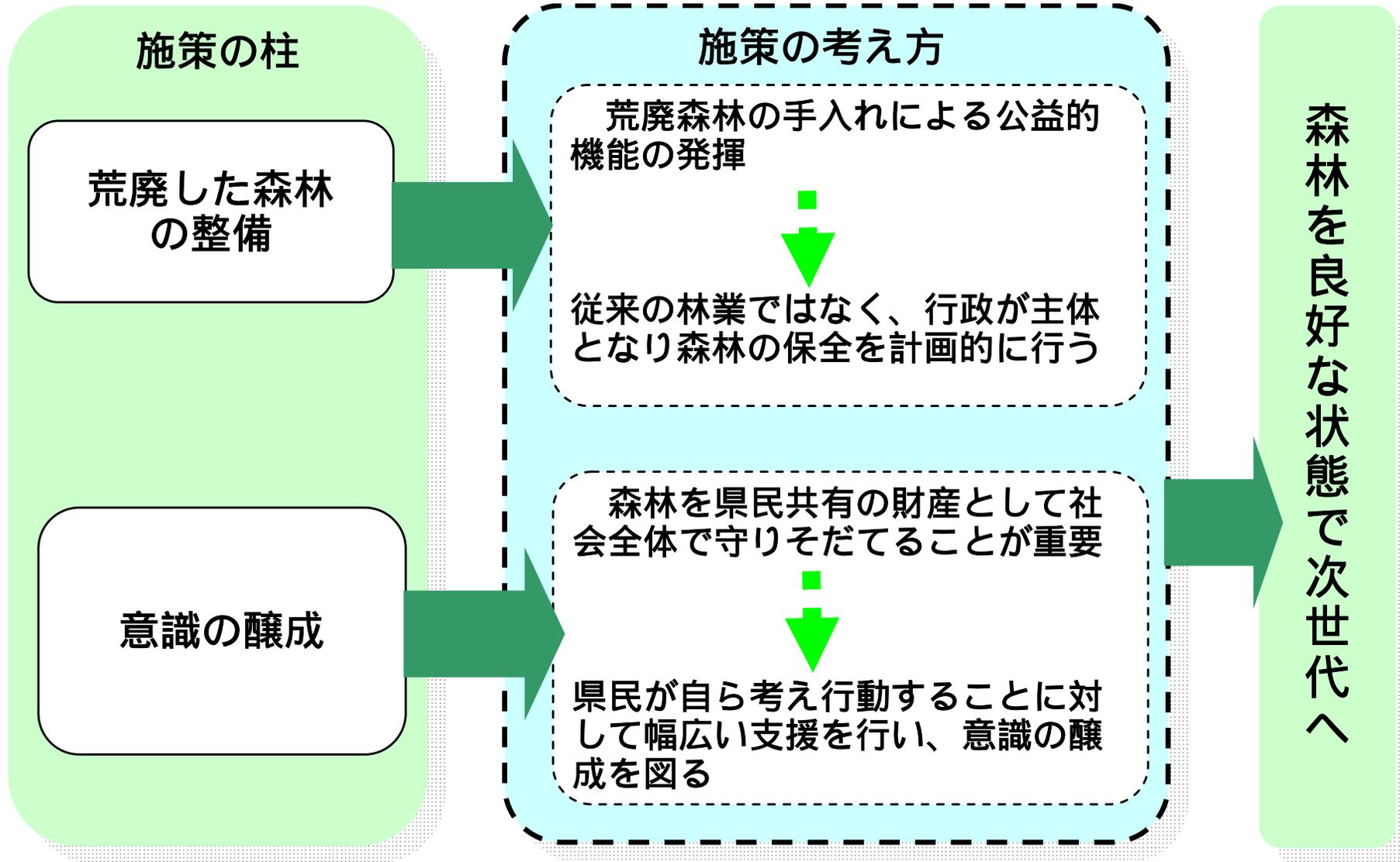
将来にわたり享受するには

## 基本理念

森林を社会全体で  
守り育てること

「県民みんなで  
支える森づくり」

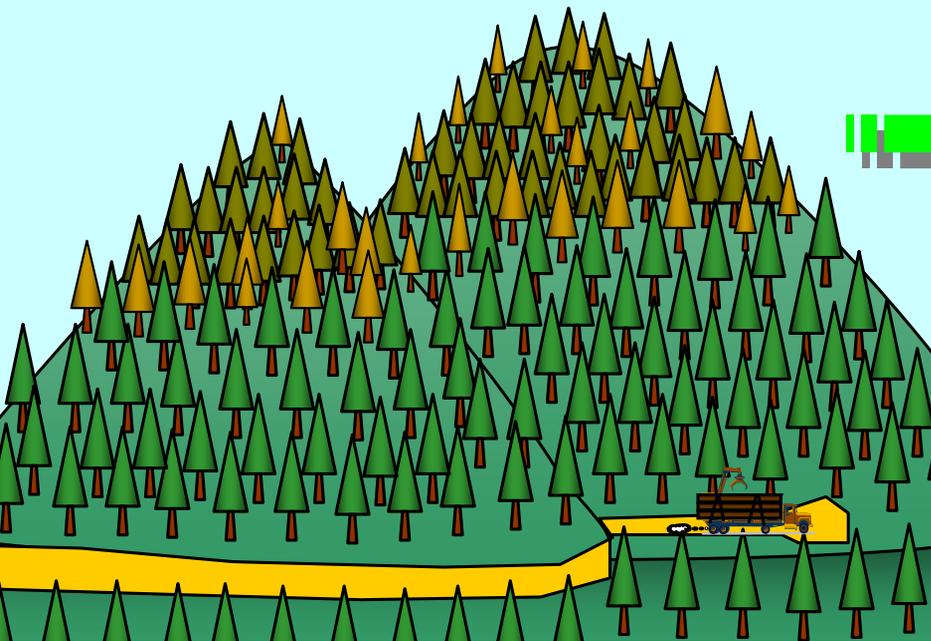
# 新たな施策の展開方向



# 考えられる新たな施策の例 (森林の整備)

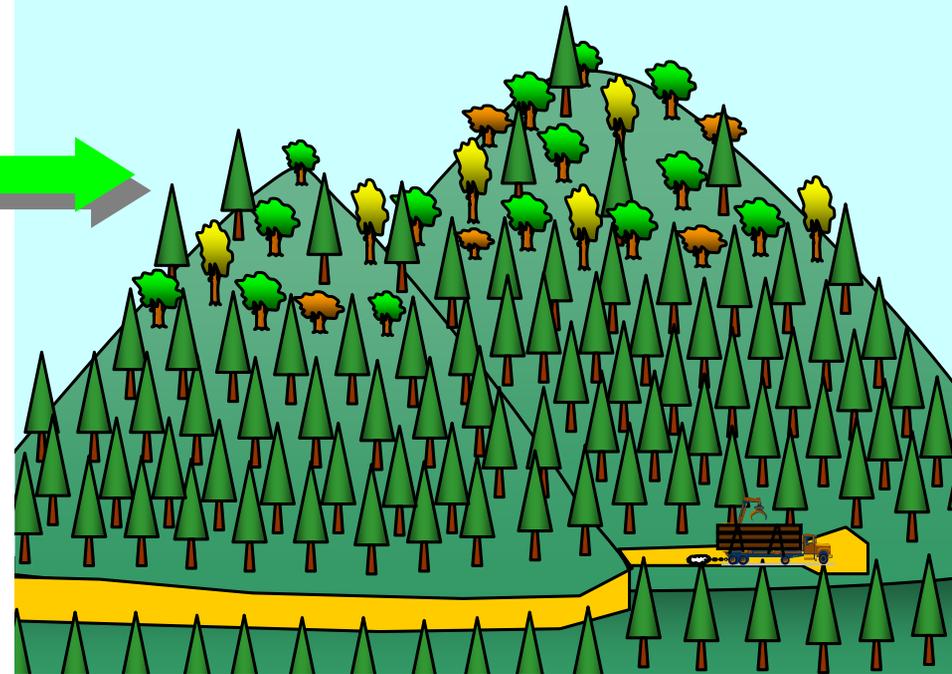
## 荒廃した針葉樹林を間伐し、針広混交林へ誘導する

現状



- 木材生産を目的とした森林整備
- ・優良材生産のための単層林の密植
  - ・不採算林は手入れが行き届かず

新たな施策イメージ



- 公益的機能発揮を目的とした森林整備  
例)
- ・間伐による針広混交林への誘導

# 考えられる新たな施策の例(意識の醸成)



## 県民が取り組む森林づくり活動を支援する

森づくり活動への支援

例)

・活動フィールドの提供や森林整備方法の研修など



## 森林の役割や大切さを伝える

森林の役割や大切さを伝え、森林を保全する意識を醸成する

例)

・子どもたちへの森林環境教育の実施など



## 資源の循環利用を促進する県産材の利用

例)

・公共施設への木製品設置など